

〈課題〉

- 「**試み**」  
家庭や地域団体等と連携し、日常的に児童が自分でやるべきことや向き合うべき課題を意識し、意思決定・行動選択をして「一歩踏み出し行動する」（成功と失敗の積み重ねる）機会を増やしていくことが必要である。  
▶不登校傾向にある児童：3名  
▶学校評価（R6 後期）「おさんは片付けや学校の準備など身の回りのことを自分でできる」保護者 74.4% ↑（前期 70.8%）  
▶学校評価（R6 後期）「ゲーム、スマホなどはルールを決めて守っている」保護者 64.3% ↑（前期 57.5%）  
▶学校評価（R6 後期）「進んで体を動かして運動したり遊んだりしている。」児童 88.4% ↑（前期 87.9%）
- 「**挑戦**」  
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す中で、課題解決や目標達成に向けて「自己選択」「自己決定」して取り組む機会を増やしていくことが必要である。  
▶全国学テ（R6）「授業では、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた」78.7%（全国 84.3%）  
▶全国学テ（R6）「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」72.1%（全国 81.9%）  
▶学校評価（R6 後期）「友達と話し合う活動を通じて、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていた」児童 85.6% ↑（前期 82.2%）
- 「**達成感**」  
自分（たち）の願いや実力を踏まえて目標を設定させ、他者と合意形成を図り目標達成に向けて取り組ませる指導の充実が必要である。  
▶全国学テ（R6）「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」80.3%（全国 82.5%）  
▶全国学テ（R6）「友達や周りの人の考えを大切に、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」83.6%（全国 91.6%）  
▶全国学テ（R6）「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」82.0%（全国 84.2%）

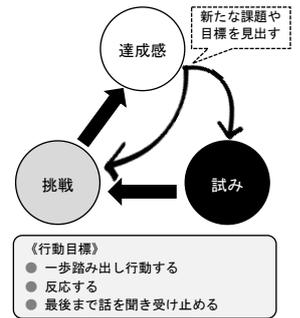
〈キーワード〉

試み・挑戦・達成感

子どもの意思決定・行動選択を促し、主体性をはぐくむ

〈数値目標〉

- 「**試み**」  
▶学校評価「おさんは片付けや学校の準備など身の回りのことを自分でできる」保護者 80.0%以上  
▶学校評価「ゲーム、スマホなどはルールを決めて守っている」保護者 70.0%以上  
▶学校評価「進んで体を動かして、運動したり遊んだりしている」児童 90.0%以上
- 「**挑戦**」  
▶全国学テ「授業では、自分に合った教え方、教材、学習時間などになっていた」全国平均以上  
▶全国学テ「授業では、課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいた」全国平均以上  
▶学校評価「友達と話し合う活動を通じて、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめていた」児童 90.0%以上
- 「**達成感**」  
▶全国学テ「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる」全国平均以上  
▶全国学テ「友達や周りの人の考えを大切に、互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」全国平均以上  
▶全国学テ「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」全国平均以上



〈実践〉

- 「**試み**」（個人）  
家庭や地域団体等と連携し、日常的に児童が自分でやるべきことや向き合うべき課題を意識し、意思決定・行動選択をして「一歩踏み出し行動する」（成功と失敗の積み重ねる）機会を増やす。  
▶規則正しい生活習慣の確立や定着、手伝いの励行など、家庭に対して必要な情報提供やアドバイスに努める。  
▶学校生活全体を通して、自分の役割や望ましい行動を考えさせ、選択肢を与えながら意思決定・行動選択できるよう支援する。  
▶地域が主体となった行事や取組において、目標や課題意識をもたせて意思決定・行動選択を促す。
- 「**挑戦**」（個人）  
「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指す中で、課題解決や目標達成に向けて「自己選択」「自己決定」して取り組む機会を増やす。  
▶学習でタブレット端末を活用するなどして学習の進度や習熟度を把握させ、ふさわしい課題や興味のある内容を選択して取り組むことができるよう指導する。（個別最適な学び）  
▶「反応する」「最後まで話を聞き受け止める」ことを心がけ、相手との考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして考えをまとめることができるよう指導する。（協働的な学び）  
▶自分の健康や体力に関心をもたせ、選択肢を与えながら意思決定・行動選択して体育的行事等に臨むことができるよう支援する。

校内研究

〈研究主題〉 自分らしさを生かし、ともに学ぼうとする子どもの育成（2年目）  
サブテーマ （ ） 検討中

- 「**達成感**」（個人・集団）  
自分（たち）の願いや実力を踏まえて目標を設定させ、他者と合意形成を図り目標達成に向けて取り組ませる指導の充実を図る。  
▶学校行事等において自分（たち）で目標を設定し、他者と良好な関係性を築きながら目標達成に向けて取り組めるよう指導・支援する。  
▶「反応する」「最後まで話を聞き受け止める」など話し合いを円滑にするための方法を指導する。  
▶振り返り活動で行動や結果の内省を促すことによって、達成感を味わわせ、さらなる目標を見出せるよう指導する。  
▶PTAや地域が主体となった行事や取組への参加を奨励する。

〈評価と分析〉

- 学校評価や全国学力学習状況調査等の結果の分析  
各種調査結果の経年変化や全国・全道との比較に着目し、本校児童の特色や傾向を把握する。
- 「**試み**」「**挑戦**」「**達成感**」の視点による分析と考察  
実践と各種調査結果とを照らし合わせながら、指導や支援の効果などを検証する。
- CS協議会における取組全体の評価  
実践全般をふりかえり、学校教育支援や家庭教育支援の在り方、改善点などについて検討する。

〈改善案の検討〉

- 学校経営の方針（重点）の見直し・検討  
評価と分析をもとに本年度の経営をふりかえり、次年度の経営方針（重点）を検討する。
- 分掌や学年における実践の工夫・改善  
次年度の経営方針（重点）をもとに、指導や支援の在り方や改善点などについて検討する。

C  
Check

P  
Plan

D  
Do

C  
Check

A  
Action